

地域の安全のために『一致団結！』

DAN!!

宮崎県消防団だより「ダン!!」

[Vol.07]

2015.11 “November”

[特集1]

全国女性消防操法大会に出場してきました！

～延岡市消防団女性消防隊 活動レポート～

[特集2]

届け！防火の願い

～宮崎市消防音楽隊 スペシャルレポート～

それいけ！新人くん

川畑充代さん(宮崎市)

市町村消防団だより

- [小 林 市] 秋季火災防ぎょ演習を実施！
- [五ヶ瀬町] 鞍岡中学校少年消防隊 最後の勇姿
- [門 川 町] お揃いのTシャツでマラソン大会に参戦！

変身！FIREFIGHTERS

[高千穂町消防団×神楽]
神楽舞うわれらは地域文化の伝承者！
高千穂町消防団(表紙)が裏表紙で変身!!

消防防災関連情報!!

宮崎県防災・危機管理情報のホームページ
<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/bousai/index.html>

総務省消防庁のホームページ
<http://www.fdma.go.jp/>



【特集1】

全国女性消防操法大会に 出場してきました！

2年に1度、全国都道府県の代表が集まり、ホースやポンプの操作などの機敏さ、正確さなどを競う「全国女性消防操法大会」。10月15日、横浜市で行われた同大会に、延岡市消防団女性消防隊が平成9年以来、18年ぶり2回目の出場を果たしました。出場したメンバーに、入隊のきっかけや大会への意気込みなどを聞きました。

～延岡市消防団女性消防隊 活動レポート～



【隊長】甲斐 良子さん

と話し
ます。
「思い
ます
動の
内容
民に
普段
の活
た。出
場を
きっ
かけ
に、
たく
さん
の市
民に
普段
の活
動の
内容
を知
って
ほし
い
と思
いま
す」

出 場した隊員は、補助員2名を含む計7名。それぞれが仕事と家事を両立させながら、操法大会に向けて昨年10月から訓練を開始。今春以降は夜間訓練のほか、自主的に集まっていた訓練も続けられました。

「午後8時に仕事を終えて駆けつけるのはしよつちゅう。それでも行けない時は週末の昼間に訓練してきました」（中野さん）、「今は慣れっこですが、ホースを持つ腕にあざができて、爪が割れたりして大変です」（松田さん）、「訓練が夢に出てきてうなされます」（日高さん）と、その苦労がうかがえます。でもメンバーはみな明るい表情。隊長の甲斐良子さんは「最初は自分のことで精一杯だった皆が、大会が近づくにつれて徐々にまとまってきました。出場をきっかけに、たくさんの方の市民に普段の活動の内容を知ってほしいと思います」と話します。



【指揮者】
澤野 元美さん
(会社員)

18年前の全国大会にも出場しました。入隊は消防団の制服に憧れて、自分で志望したんです。当時は狭き門だったので、面接で消防団愛を懸命にアピールしました。元々人見知りですが、制服に身を包むと知らない人とも話ができるのが喜び。優勝目指してがんばります。



【1番員】
松田 早紀さん
(歯科衛生士)

消防本部総務課で臨時職員をしていた時、先に入隊していた2番員の小野さんと親交があり、女性消防隊の話を聞いていたんですよ。入隊は制服姿や出初式の様子を見てカッコいい!と思って決意しました。大会では女性らしさは忘れずに、練習したことをしっかり発揮します。

隊員 インタビュー

Interview



【2番員】
小野 由香里さん
(学校事務)

17年前、前団長と母親が同じ職場だったことが縁で消防団に誘われました。仕事や家事で大変な面もありますが、応急手当講習の補助などは自分の勉強にもなるし、いろんな人と知り合いになる機会も多いので楽しく活動しています。メンバーに迷惑をかけないようにがんばります。



【3番員】
日高 絵莉さん
(大学4年生)

昨年11月に入団したばかりです。私は学生なので、先輩の皆さんといくと消防だけではなく社会の規律もわかり、人生そのものの勉強になっていて少しずつですが成長できている実感があります。操法大会では足を引っ張らないようにがんばりたいと思います。



【4番員】
中野 佑子さん
(鍼灸師)

京都出身で、昨年3月に延岡に転居してきたのですが、知り合いがいなかったことから地域とのつながりを作ろうと思い、6月に入団しました。1泊2日の宿泊訓練にも参加したりして、自分の世界が広がるきっかけになっています。大会では日頃の成果を発揮したいです。

第22回全国女性 消防操法大会で健闘

10月15日、全国から精鋭が集い、操法技術を競った同大会。出場した延岡市消防団女性消防隊は、日頃の練習の成果を発揮し、出場46隊中21位と健闘しました。



本番で機敏な動きを披露



競技前に緊張しながらも記念写真



開会式で堂々と行進する隊員



【特集2】

届け！防火の願い

～宮崎市消防団音楽隊 スペシャルレポート～

「消」 防と音楽の「つどい」を目前に控えた、ある日の午後8時。140mを超える広さの市民プラザ練習室は、楽器を構える隊員で埋まりました。楽長の浦雄一さんのタクトで一斉に鳴らされる音。小休止の際に時折笑みはこぼれるものの、室内は終始心地のよい緊張感に満ちています。「私たちは週1回、ここで練習をしています。隊員は楽器演奏経験のある一般市民。48名のうち39名が女性という、ウーマンパワーにあふれた音楽隊です」と話すのは、隊長の水さん。演奏は年間約20回。宮崎市や消防局の主催イベントのほか、学校や福祉施設など、幅広い場で活動しています。「発足当時はどんな行事にどう参加すればいいか見えない部分もありましたが、今ではいろんなところから声を掛けていただくようになりました。隊員には5人

九州で唯一の消防団音楽隊である宮崎市消防団音楽隊は、平成10年10月に結成して以来、17年にわたって演奏活動を続けています。去る11月15日には、消防のPRと市民の防火意識の啓発を目的とする年1回の定期演奏会「消防と音楽のつどい」を行った音楽隊。その活動を追いました。



宮崎市消防団音楽隊 隊長

有水勇一郎さん(51歳・公務員)

消防団音楽隊が結成された平成10年、広報紙の団員募集記事を見て応募し、オーディションを経て打楽器奏者として入隊。現在はドラマーとしても幅広く活動中。

の選曲係がいて、懐メロから流行曲まで、演奏する場所に合わせて幅広く選曲しています(有水さん)。

昨年は宮崎市制90周年の特別企画として、商店街や商業施設でサブライズ演奏をする「フラッシュモブ」を敢行。初めての試みでしたが、多くの市民が消防団の活動を知るきっかけになりました。「隊員はみな仕事や家庭を抱えていて、なかなか全員が揃うことは難しいのです

隊員インタビュー

1人でも多くの人に 楽しんでほしい

ユーフォニアム

小森志朗さん(60歳・理容師)

小森さんが入隊したのは14年ほど前。「それまでは他のグループで活動していたのですが、当時の隊長から誘われて入団しました。中学の時に少ししか演奏経験がなかった小森さんでしたが、40歳の頃、長女が中学校で吹奏楽部に入ったのを機に、再び音楽魂に火がついたそうです。「指の押さえ方すらわからず、娘に聞きながら練習しました。消防団音楽隊は公演回数の多さが魅力。1人でも多くの皆さんに演奏を楽しんでいただけるようにしっかり練習を重ねたいと思います」



お客様のダイレクトな 反応が醍醐味

フルート

鈴木加奈子さん(40歳・販売員)

鈴木さんが高校の吹奏楽部仲間から誘われて入隊したのは12年ほど前のこと。「長いブランクがありましたし、高校の時に音楽はやり尽くした感があったので、誘われた当初は無理じゃないかと思っていました。でも練習や公演を続ける中で、やっぱり私はこの世界が大好きだということに気づいたんです。イベントやお祭りなどで一般の人と接する機会が多く、反応もダイレクトに感じられるのが消防団音楽隊の醍醐味です」



客層や選曲の 幅の広さが魅力

パーカッション

永友智子さん(23歳・医療事務)

ちょっと覗いてみるだけのつもりで、大学の吹奏楽仲間と練習の見学に足を運んだ永友さん。そこで、以前目にした消防団音楽隊のフラッシュモブ(不特定多数の人がいる街頭などで突如始めるサプライズパフォーマンス)を思い出したそうです。「以前商業施設で目撃し、演奏がすごくカッコいいと感じたことを思い出しました。入隊してまだ間もないのですが、小さな子ども向けが大半だった大学時代とはお客様の層が全然違うし、選曲の幅も広いので楽しいですね」



が、それでも活動を続けられているのは隊員のおかげであり、足を運んでくださるお客様のおかげです」と有水さん。1人でも多くの市民に存在を知ってもらい、演奏を聞いた子どもたちが防火の意識を高めたり、将来は消防団や音楽隊に入隊してくれるようになってほしいーそんな願いを込めながら、隊員は今日も練習に励んでいます。

「消防と音楽のつどい2015」で 華麗な演奏を披露！



消防のPRと市民の防火意識の啓発を目的として毎年1回開催している「消防と音楽のつどい」。今年は宮崎市消防団音楽隊のほか、消防団女性分団のPR劇や意見発表、ラッパ隊の演奏なども行われました。宮崎市消防団音楽隊は、この日まで練習してきた曲を披露。NHK大河ドラマ「花燃ゆ」メインテーマなど馴染み深い曲も演奏され、会場は大きな拍手に包まれていました。

消防を通して地域と つながれることが喜びです！

宮崎市消防団

川畑 充代さん

それ行け！

新人くん

家庭のことや仕事のこと、そして消防団活動にと精力的に活動をしている、新人消防団員をピックアップ！



ふ

だんは県職員として、こども政策課で少子化対策や子育て支援に奔走している川畑さん。「結婚したい男女の出会いのサポートを行うために、県が今年度新たに組み立てているみやざき結婚サポートセンターの企画運営などに携わっています。議会の会期中は忙しいですね」と笑います。県外出身の川畑さんが、総務省からの出向で宮崎にやってきたのは昨年4月のこと。今後数年間は宮崎に住む予定となり、地域のために腰を据えてできることはないかと考えて、消防団への入団を決め

たそうです。「仕事で消防に関する国の制度設計に携わっていたのですが、それだけでは見えない部分があります。仕事以外の知り合いが少ないこともあって、消防を通して地域と関わりたいと思ったんです」
入団してからは、多忙な仕事の合間を縫って消防関係のイベントや操法大会の補助、救急フェアの告知チラシ配布などに従事しているとのこと。「チラシを積極的に手に取ってもらえ、思った以上に消防が住民の皆さんに身近なことを感じました。団員が地域から敬意を払われていることもよくわかりました」。数年後は別の都市に異動になる可能性もあるという川畑さんですが、異動しても消防団活動は続けていきたいとのこと

NEWS

2日間にわたって消防の基礎を研さん！

参加者の声

昨年5月に入団し、応急手当の普及を中心に活動しています。兄も消防団員ですが、自分が入団するまでは活動内容などを知りませんでした。訓練には初参加で、火の扱い方や怖さ、広報活動の重要性を改めて理解するよい機会になりました。私の住む西都市は、過去に大きな火災のあった町。万一の時に素早く団員に連絡を回すなど、消火を助ける支援を心がけていきたいです。

西都市消防団 稲田 有香さん



10月20日(火)〜21日(水)の2日間、宮崎県消防学校で消防団員基礎教育(普通科)が行われました。「年4回、毎回数20名の消防団員に基礎教育を行っていて、今回は女性を対象に13名が参加されました。入団1、2年目の人を中心に、研修ではロープ基本結索や、担架搬送、消火器取扱いなど、個々の消防団ではなかなか行き届かない訓練を実施しています」と、教頭の池部幸大さんは話します。

研修は通学者はいるもの

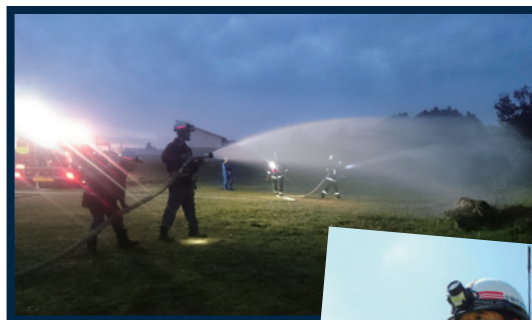
の宿泊ありの2日間。前述の実技から、消防制度などを学ぶ座学まで、プログラムがみっちり詰まっています。夜の懇親会では情報交換をしながら受講者同士で親睦を深めているとのこと。「今回参加された女性消防団員の皆さんは、消防活動のソフト面支援という重要な役割を担っています。女性の団員数もまだまだ限られているだけに、皆さんのがんばりを期待したいところです(池部さん)」

小林市

秋季火災防ぎょ演習を実施！

11月8日、小林市消防団は、小林市、西諸広域消防本部中央消防署と共同で、小林市秋季火災防ぎょ演習を実施しました。これは演習を通じてポンプの操作や無線の取り扱い、指揮命令系統の確認を行うことで、防火意識の高揚を図ることを目的としています。当日は朝6時から、小林地区はサンキュー小林店、須木地区は須木小学校、野尻地区はのじりこびあで演習を行いました。

小林市消防団団長の芝原靖彦さんは「小林は消火栓の数が多く複雑なため、国道にホースを渡さないようにするなど工夫が必要で、地域の特徴を理解するいい機会になった」と話します。団員の迅速な動きを追求するとともに、住民の皆さんへの防火意識が広がることを期待しながら、今後も続けていきたいとのこと。



小林市秋季火災防ぎょ演習の様子

小林市消防団
団長 芝原 靖彦さん



五ヶ瀬町

鞍岡中学校少年消防隊 最後の勇姿

鞍岡中学校はかつて、昭和26年と47年の2度の火災で校舎を消失。これを教訓とし、生徒に防火意識を持つってもらう目的で、昭和63年に鞍岡中学校少年消防隊が結成されました。以来、生徒たちは消防規律訓練を通して消防の知識や理解を深め、学校生活での協調性や規律も養ってきました。

それから約30年、鞍岡中学校が今年度で閉校することとなり、10月18日に同校の消防隊としては最後の町消防操法大会に出場。お揃いのはんてんとヘルメットを身に付け、五ヶ瀬町消防団員の指導を受けて7月から週1回練習を重ねてきた規律訓練を披露しました。立派に訓練を終えた生徒たちは「練習の成果を発揮できた」と満足そうな表情。たくさんの消防団員も温かい目で見守っていました。



最後の操法大会に臨む鞍岡中学校の生徒たち

門川町

お揃いのTシャツでマラソン大会に参戦！

門川町消防団第4部は、有志10数名がお揃いのTシャツを着て町内外のマラソン大会を転戦中。5年ほど前、奈須さんと松井さんを含む4人が、消防活動以外で何か面白いことができないかと思いついたのが始まりだったそうです。「私以外は未経験者でしたが、綾・照葉樹林マラソン出場を先に決めた上で、勢いで始めました」（奈須さん）。松井さんは「1年前から練習を始めて、本番はハーフを走りました。きつかったです」と苦笑いするも、走る楽しさは感じられるようになったそう。地域の人から「がんばってるね」と声を掛けられたり、門川町からも盛り上げ貢献へのお礼が伝えられるなど、反応も上々。来年2月に出場を予定している新富町のリレーマラソンでは優勝を目指すとのこと。



「かどがわ潮風リレーマラソン」でのひとコマ

敬礼！

奈須 直之さん（左）
松井 広治さん（右）





神楽舞うわれらは
地域文化の伝承者！

変身！ FIRE FIGHTERS

ふだんはさまざまな職業や役割で奮闘しながら、
万一の時は地域のために颯爽と立ち上がる。
それが影のヒーロー、消防団員。
みんなの暮らしを守るため、レッツ変身！

変身した人 高千穂町消防団 第9分団 第2部

①廣木哲也(ひろき・てつや)さん[41歳・重機オペレーター]／②佐藤剛(さとう・つよし)さん[41歳・営業]／③甲斐悠也(かい・ゆうや)さん[33歳・大工]／④佐藤庄悟(さとう・しょうご)さん[30歳・測量士]／⑤甲斐雅智(かい・まさとも)さん[23歳・公務員]

里ごとに氏神様をお招きし、三十三番からなる神楽を夜通しかけて奉納する「夜神楽」。宮崎県内でも特に盛んな地域である高千穂町で、消防団のメンバーがその担い手を務めています。表紙の消防団活動服から神楽の袴姿に変身したメンバーの皆さんに、話を聞きました。

―皆さんはどんなきっかけで消防団に入団されたのですか？

廣木 20年前に県外から戻ってきた時、先輩から誘われて入団しました。消防団は小さな頃から顔なじみの人が多く、若い人との付き合いもあるので楽しいです。

甲斐(悠) 私は3年前に広島からUターンしたのですが、親も団員で活動していますし、できるだけ地域に貢献したいという思いもあつたので入団しました。

佐藤(庄) 私と同じくUターン組で、5年前に大阪から帰ってきた時に入団しました。元々若者が少ない地域なので、入って欲しいという声もありましたし、役に立てるのなら、と思いましたね。

佐藤(剛) 私はずっと地元です。たまたま会社の研修で1か月不在にしていたのですが、研修が終わって自宅に帰ったらなぜか消防服が置いてありました(笑)。21年も前のことですね。甲斐(雅) 私は町職員採用の2次試験の時に、試験官から「地元に戻ってきたら消防団は

どうしますか？」と聞かれて、入団の意思を伝えました。団の先輩にはお子さんが私と同世代という人もいて、とてもよくしていただいています。

―皆さんはどのようにして神楽に取り組むようになったんですか？

廣木 高千穂町では小学校や中学校の行事として、神楽の伝承活動をしているんですよ。

佐藤(剛) ほとんどがそこから始めていますね。私や廣木さんの世代から始まって、今も各学校で実施されています。若者が少ないこともあって、今は女の子も一緒にするところも多いかな。小さい頃からみんなやっていたので、私たちには神楽は特別なことではなく、ライフワークに近いものですね。

―なるほど。練習の様子はいかがですか？

甲斐(悠) 私たちのいる下野東地区では、下野東公民館を神楽宿として11月22日に夜神楽を行います。それに向けて、11



月初旬から本番までの約20日間、夜に公民館に集まって練習しています。ここにいる全員が、三十三番のいすれかを担当して舞うんですよ。

佐藤(庄) それ以外にも地元の祭りで舞うことがありますし、人によっては観光客向けの「高千穂神楽」で舞う機会もあります。

―消防団活動との両立は大変ではありませんか？

廣木 神楽の練習は本番前の期間だけなので、消防団の訓練と比べれば大きな影響はありません。仕事との兼ね合いで練習になかなか来れないことはありますけどね。

佐藤(剛) 家族との時間も大切なので決して楽ではないですが、神楽はこの地域ならではの行事なので、消防団とでも使命感に燃えてこれからのがんばりたいと思います！

地域の安全のために『一致団結！』

DAN!!

宮崎県消防団だより「ダン!!」

【Vol.07】

平成27年11月発行

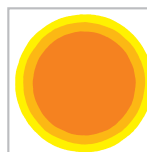
【発行】

宮崎県総務部 危機管理局 消防保安課
〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号
TEL0985-26-7627 / FAX0985-26-7304



消防団だより「DAN!!」の
特設サイトはこちら。
動画も閲覧できます！

【企画編集・デザイン・印刷】
株式会社 宮崎南印刷
〒880-0911 宮崎市大字田吉350番1号
TEL0985-51-2745 / FAX0985-52-2682



日本の
ひなた
宮崎県